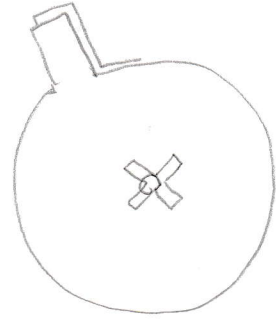


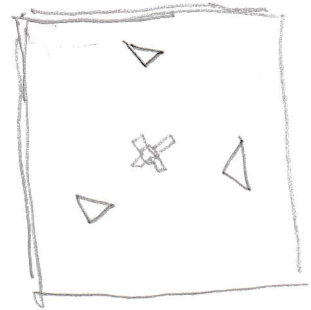
2枚を回転させやすいように、
 図のような取っ手つき円盤の形に
 七かりとってよい。
 (もしなくても何とかなる)



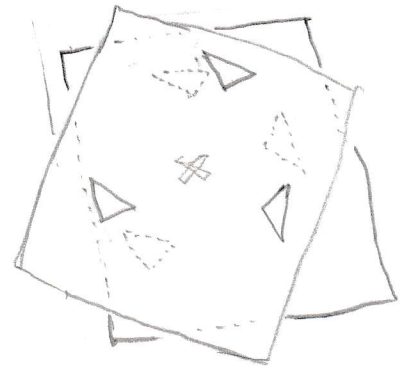
ここから 景絵のための形の作成

(1) 七かりとる形も、景絵が重かくコマ数も自由に
 えるべからず。以下の説明では、簡単な形
 で、2コマだけにしておく

(6) 2枚の紙をそろえた状態のまま、
 穴を2枚まとめて開ける。図のように
 小さな三角穴が3カ所できたとする。
 この3カ所の穴の配置が重かく景絵の
 1コマ目になる。

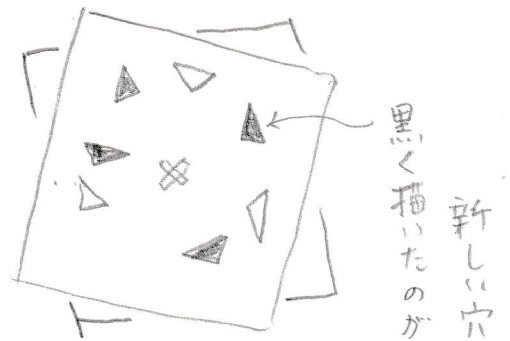
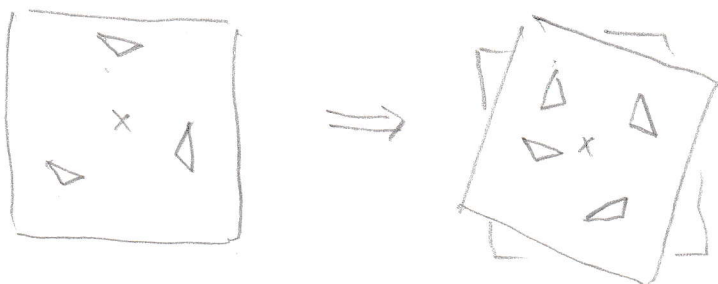


(7) 2枚の紙をずらすように回転させて
 ゆくと、(6)で開けた かさなった穴が
ずれて、光が通らないうちにできる。



その状態のまま、新しい穴を
 4カ所開けたとすると 右下図になる

(8) 2枚を、そろえて、はじめての形に
 もどし、紙全体を明るい方に向けて、
 それから2枚をずらすように回転させた。
 光が通った形が
 3コの形 ⇒ 4コの形と 変化するはず。



(9) 部屋を暗くして
 2枚の紙にライトを
 あて、壁や天井にうつり
 と「重かく景絵」になる